

田面交差点北の拡幅工事

早期着工の要望書提出

日高県議、加古長草区長とともに 知多建設事務所を訪問



拡幅予定の田面交差点付近

望書を提出してまいりました。

大府市内で長年にわたり問題となっていた田面交差点北側の県道拡幅工事について、去る3月19日、日高県議、加古長草区長、加古正長草自治区長、加古雅彦同区長代理とともに愛知県知多建設事務所(半田)を訪問し、早期に工事着工するよう要

望書を提出してまいりました。この拡幅工事についてはすでに事業化が決定しているものの、一部の用地交渉が決着していない状況となっています。応対いただいた知多建設事務所に対し、加古区長から「地域の安全対策として急務の課題である」ということ、日高県議と私からは「この事業は地域の安全対策のみならず、大府市内全体の渋滞緩和という点で大きな意味をもって」ということを強く訴えました。

少しでも早期に着工すべく取組んでいくという前向きな回答をいただきました。日高県議とは、この田面交差点のほかにも、県道東海緑線・長草東海線の再整備、伊勢湾岸道と知多半島道路の直結化、警察署誘致などといった課題と一緒に取組んでおり、少しずつですが動き出しているということも併せてご報告させていただきます。

手話言語条例制定 本会議で賛成討論

令和2年3月定例会で、「大府市手話言語条例」の制定が決まりました。この条例制定の議案を採決するにあたり、自民クラブを代表して賛成討論を行いましたので、その内容をご紹介します。

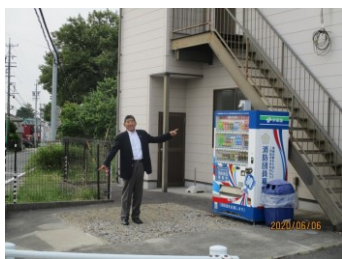
「(中略)この議案を審議していく過程において、『手話が言語である』という意味、ろう者が苦痛を強いられるてきたという歴史、そして現在でも不安や不便を感じているろう者の現状という点で、私たちがいかに知識・認識不足であったのかを痛感しているところです。(中略)大府市議会自民クラブは、このことを大いに反省し、今後は条例を制定する責任者として手話およびろう者に思いをよせ、自ら理解を深めるよう努めることとお誓い申し上げます。そして、この大府市手話言語条例を改めて読み返し、ほかにいかなる障がい者がいる苦しんでいる障がい者がいるであろうと思うとき、条文中の「ろう者」をすべての障がい者と読み替え、障がい者を抱える全ての人たちに対して、この条例の精神を理解し、実践していくことも大切な取組であらうと思えます。」



江端公園北、矢戸川付近階段からの飛び出し注意喚起

地域の安全対策 皆さまからの声を反映

地域の安全対策について、地域の見回り活動で見たり、地域の皆さまからご指摘をいただきました。危険箇所の改善に継続的に取組んでいます。例えば、江端町江端公園北から矢戸川に降りる階段の下に「飛び出し注意」のオレンジポールを設置しました(写真①)。消防団森岡分団前に設置してある自動販売機が、交差点周辺の視界の妨げになっているとの指摘を受け、視界が確保できる場所に移動する措置を講じました(写真②)。その他、カーブミラー、ガードレール、注意喚起の看板なども数カ所設置が予定されています。また、歩道における歩行者と自転車の通行について多くの方からご意見をいただきました。歩行者・自転車双方の安全対策を大府幹部交番に協力要請いたしました。



消防団森岡分団前移動された自動販売機
写真②

交差点立哨活動を再開しました



昨年の市議選に当選以来、毎週継続して行っていました大府駅西交差点での立哨は、新型コロナウイルス対策に配慮し、緊急事態宣言発令中は実施を控えておりました。緊急事態宣言が解除されましたので、6月1日より再開いたしました。6月には五十回を数えます。百回、二百回を目指し、皆さま方の一日が気持ちよく始められますようにとの願いを込めて、明るく挨拶を行ってまいります。

ずっと大府、もつと大府 現在、これからの取組課題

本年度は大府市第6次総合計画のスタートの年であり、且つ市制50周年を迎える年でもありましたが、新型コロナウイルスの影響で、計画の執行も余儀なく変更される事業もでてきました。そんな中において、大府市の学校教育分野ではこれを機にGIGAスクール構想の実施を一気に加速させようと動き出しました。先進的な本市のICT教育をしっかりと支援してまいります。

地域の取組課題ですが、まずは家畜舎の臭気対策として、業者への補助金を支給するという補正予算が6月定例会で承認されましたので、その後の推移を注視していきます。矢戸川の緑道が整備されたのに続き、次は石ヶ瀬川右岸の緑道の整備です。早期完成を促して

いきます。道路の安全確保については、森岡公民館周辺の道幅や交通規則の変更の件、伍島園さんの交差点の横断歩道設置の件、明成・深廻間線の横断歩行者対策の件については、それぞれ地域住民の皆さま、警察、行政と問題を共有し、解決策を探ります。住宅街にある所有者不明の空き地の管理については、法整備を待ちつつ、行政も巻き込んだ地域力での取組みに知恵と汗をだして行きます。

その他、都市計画道路「大府-東浦線」の早期整備実現化、同「健康の森-大府駅西線」の事業化、森岡エリアへの食品スーパーの出店誘致など都市計画の推進、ゴミ収集場所の分散化に加えて、「新しい生活様式」での課題にも目を向けてまいります。



自民クラブの要望書を岡村市長に提出
～大府市役所市長室にて～

新型コロナ感染症対策 会派として要望書提出

新型コロナウイルス感染症の影響が拡がって行く中で、市民の皆さまの多大なるご理解とご努力により、これまで(6月10日時点)大府市内での感染者は2名に留まっています。しかしながら、学校の休校措置、公的施設の閉鎖、商業店舗の休業、企業活動の自粛、福祉施設等の業務縮小、イベントの延期・中止など、経済的、精神的、肉体的な負担を背負われている市民の方々が多くおられます。そこで全国緊急事態宣言発令中の4月24日に、市民の皆

ずっと大府
もっと大府

大府市議会議員
ふじもと宗久
政治活動報告

令和2年夏号



委員会は
建設消防委・広報委
議会委員会人事

令和2年5月の第二回臨時会において、大府市議会の今年度の委員会人事が決まりました。私は常任委員会では建設消防委員会の所属となりました。

さまからの声を自民クラブとして取りまとめ、岡村市長に対し「新型コロナウイルス感染症対策要望書」を提出いたしました。その後、5月に開催された第二回臨時会にて、要望書に掲げた事項のいくつかが議案として上程・可決され、執行されることになりました。その主なものを左の枠内に記しました。今後、事態の推移を注視し、必要に応じて第二、第三の策を考え、市側に提案をしてまいります。ご要望がございましたらお申し出下さい。

建設消防委員会は、都市整備、建設、産業振興、消防といった事業が担当分野となります。JR駅周辺の賑わいづくり、道路整備など、課題の多い大府市の都市整備事業をはじめ、商工業、農業の振興とIT企業などの新産業の企業誘致から、食品スーパーの新店、市内公共交通網の整備といった身近な課題に対しても積極的に取り組んで

まいります。そして建設消防委員会では、担当分野での議案の審議とは別に、本年度は「消防団について」というテーマで調査研究し、年度末を目処に執行部に対する提言をまとめたいことも決まりました。

また昨年に引き続き議会広報委員会でも活動を行うことになりました。コロナ禍においては、積極的に議会傍聴をお勧めする状況ではございませんが、「議会だより」、議会ホームページなどの媒体で、皆さま方によりわかりやすく議会活動をお伝えできればと思っております。これから媒体について、お気づきの点やご提言などをお聞かせいただければ幸いです。

自民クラブ副幹事長に 市議会会派役員人事

大府市議会自民クラブでも令和2年度の役員人事が行われ、副幹事長の役を拝命いたしました。尚、会長は早川高光議員、副会長に加古守議員、幹事長に鷹羽琴美議員という布陣で本年度の会派運営を行ってまいります。

佐賀県、長崎県へ 会派の行政視察

市議会自民クラブでは令和2年1月に行政視察として佐賀県、長崎県大村市、佐世保市を訪問いたしました。佐賀県では、社会的に孤立した子ども・若者に向けたアウトリーチ(訪問支援)活動

令和2年上半期の主な活動

- 1月 年始詣、消防出初式、商工会賀詞交歓会、石ヶ瀬コミ安心安全パレード、若手農業者懇親会、日高県議後援会伊勢神宮参拝、地元とうちゃんソフト懇親会、自民クラブ行政視察
- 2月 鈴木政吉コンサート、盆梅展、健康プログラムクローゼイングイベント、森岡公民館芸能まつり、熱田社建国記念式典、教育研究発表会、認知症フォーラム、森岡八幡社・森岡社神事、市役所事務改善成果発表会
- 3月 議会第一回定例会(予算審査)、大府市長選挙、議会第一回臨時会
- 4月 石ヶ瀬自治区総会、森岡自治区総会
- 5月 議会第二回臨時会(人事)、第三回臨時会(コロナ対策)
- 6月 議会第二回定例会

岡村市長、二期目も期待 3月の大府市長選



当選を決めた岡村市長とガッツポーズ
～岡村ひでと選挙事務所にて～

3月に行われました大府市長選挙において、現職の岡村秀人さんが当選されました。新型コロナウイルス感染症拡大懸念の最中で、無投票当選でしたが、公約通りにしっかりとスピード感をもって対策に着手されています。「いつまでも暮らしやすい大府市」を目指して、市長ご自身も「やり残した」と言及された駅周辺の整備事業着手に大いに期待します。

を行うNPO法人を視察しました。大府市では、空洞化する中心市街地の活性化策の実施状況を視察しました。商店街をショッピングモールとして整備し、「歩いて暮らせるまちづくり」として賑わい創出と市民交流の一体的な実現を図っていました。佐世保市では、障がい者雇用をテーマとして佐世保市役所を訪問しました。役所内に「させばチャレンジルーム」を設置し、一般企業への就労を目指す知的・精神的障がい者を市が直接雇用し、庁内各部署から依頼された印刷、封入、シュレツダ1、簡単なPC入力作業などを行っていました。大府市も庁舎内では非とも取組んで欲しいと感じました。